



港南さくら道を歩く

本郷ふじやま公園古民家歴史部会 神田 恵仁

実施日:令和 4 年 4 月 6 日(水)

集 合:港南ふれあい公園

解 散:港南ふれあい公園

行 程:港南ふれあい公園➡港南桜の碑➡天照大神社➡日野公園墓地➡本願寺横浜別院
➡港南スポーツセンター➡港南中央駅 (地下鉄)

港南の桜

公園墓地が開園した昭和 8 年、笹下町の青年団の人たちがソメイヨシノの苗木 250 本をこの道に植えました。この桜も第二次世界大戦中は燃料として伐採されそうになったり、戦後は日照権問題で苦情があったりもしたが、地元町内会などの努力によって、何とか保存されてきました。しかし現在、病虫害や車の排気ガスによって、100 本しか残っていません。地元町内会では「港南桜まつり」を行い、より多くの人に親しまれるよう努めており、昭和 53 年には桜道と関坂の交差点の角に、もと天照大神の鳥居の柱を活用して「横浜名所・港南の桜」と刻んだ円柱の記念碑を立てました。【こうなん道ばたの風土記】

を増築したものです。【神奈川県神社誌】

港南ひまわりトンネル

横浜市内で一番長いトンネル、全長 547.5m。名称は市民からの公募による。「ひまわり」は港南区の花です。

日野公園墓地

四季折々の自然と触れ合い、緑いっぱい公園墓地。散策コースとしても人気、区民の憩いの場としてもなっている。昭和の歌姫「美空ひばり」をはじめ横浜市にゆかりのある有名人が多く眠っている。

天照大神社

もと笹下郷の総鎮守たる本社の創立年代は不詳であるが、境内神木等から天正以前と推定されている。明治六年村社に列し、同四十一年九月、無格社の安房洲神社、八坂神社、若宮八幡社、榛名神社、稲荷神社、杉山神社、御霊神社の七社を合祀し、大正二年五月に神饌幣帛料供進社に指定された。現在の本殿は文久三年六月の再建で、明治二十二年五月に拝殿

日野六地藏尊

言い伝えによると、昔この地に疫病が流行し村人たちがその疫病が早く治るようにとの祈念を込め、六体のお地藏様を建立したとのことです。疫病鎮護のお地藏様が時代の流れとともに、無病息災や子供たちの発育円満を祈る「子育て地藏尊」となり現在に至っています。



第149回 古民家歴史散策 (栄区周辺散策)

港南区編

港南さくら道を歩く

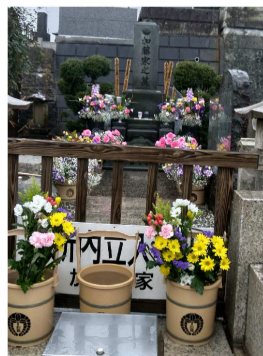
2022年4月6日実施



桜道のさくら

さくら道
辿りてひばりの
墓詣で

【港南歴史カルタ】



美空ひばり(加藤家)墓所

【港南歴史カルタ】

ぼんぼりを
飾り迎える
さくら道



全行程3.7km

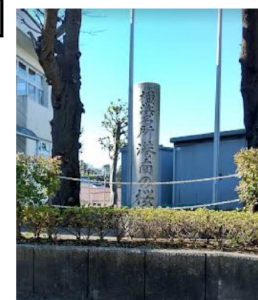
- ① ふれあい公園 850m
- ② 南台小学校 680m
- ③ 日野公園墓地 820m
- ④ 墓地入口 430m
- ⑤ NTT 920m
- ⑥ 港南中央駅



地蔵尊



天照大神社



港南桜の塔

04-05
03-18
03-05

dimson